

平成22年度第一回こうち男女共同参画会議議事録（要旨）

1. 日 時 平成22年6月29日(火) 13:30～15:30
2. 場 所 高知共済会館 3F「藤」
3. 出席委員 筒井早智子 山根洋右 寺尾敦子 松尾浩子 田島真紀 川村直哉
川田美季 中山美佳 永井資士 福島幸子（敬称略・順不同）（10名）
4. 【質疑意見】
 - 防災について
 - ・防災会議などのメンバーを決める時に、女性を登用して、防災計画に女性の視点を入れてほしい。（脱衣所、トイレ、食事の配給、介護など）
 - ・妊娠中の女性、乳飲み子を抱えた女性や女性特有の病気を持っている、そういう被災者に対する女性医学的な対応について、充足しているのか。
 - 女子差別撤廃条約の反映について
 - ・県として具体的にどう考えているのか。意識を変える取組みしかないのではないのか。
 - 新しい分野について
 - ・子どもの時から男女共同参画の意識をうえつけること、地域では自治会や商工会における方針決定過程への女性参画を考えることがあげられるが、例えば教育の現場では、子どもに対してどんな教育をしているのか。
 - その他
 - （教育）
 - ・男女混合名簿は、郡部は進んできているが、高知市は遅れている。高校は私立、公立も含め取組が進んでいないのではないのか。校長・教頭についても女性の登用が減っている。
 - （雇用）
 - ・就業支援のことや仕事に就いてもワークライフバランスが十分でない問題について。
 - ・親が安心して働ける職場を企業だけでなく、国や県も取り組んでほしい。
 - （プラン）
 - ・プランの基本的な考え方で、県民意識調査の結果の反映を第一に考えてほしい。
 - （DV）
 - ・DVを防止するためには、意識を変えるしかない。繰り返し学ぶ、研修の機会を設けて、防止につなげればと思う。高知の場合は何らかの形で働いている人が多い。加害者の人も働いていると思う。高知県の企業や労働組合で、時間がなければビデオを見るなど、研修の機会を持つ。何かの研修の折にしていくなど、働きかければ協力も得られるのではないのか。